男女共同参画の視点

性別による役割意識を変えよう

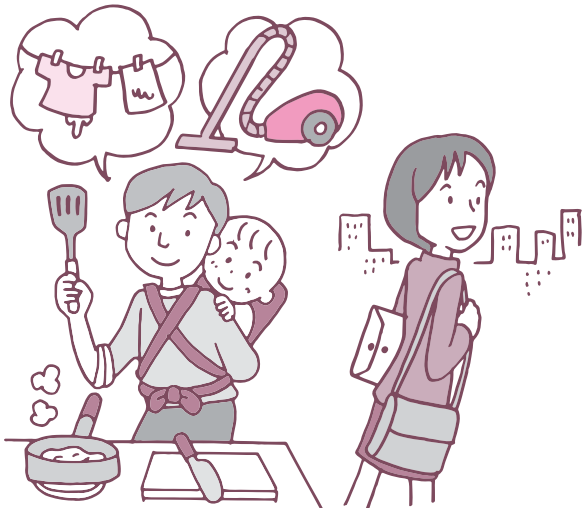
現代の日本社会には、これまで当然として認識されてきたさまざまな慣習が根付いています。「男は仕事、女は家庭」というような性別による役割意識もその一つです。

例えば、男性に対して「外で働いて家族を養うのが役目」「弱音を吐いてはいけない」、女性に対して「家事・育児が仕事」「仕事は一生続けなくてもよい」などのイメージを持っていませんか。このような固定観念により、男性は仕事を優先して、家庭や自身のための時間が持てていないかもしれません。女性は働くことを諦めたり、家事や育児の重圧に苦しんだりしているかもしれません。

令和2年度に実施した市民アンケート調査では、男女の固定的な役割があると感じている人が全体の5.8％という結果が出ました。平成27年度に実施した調査と比べると、その割合は減少しているものの、いまだに多くの人が固定観念を持っていると考えられます。

誰もがお互いを尊重し、性別にとらわれず活躍できる社会の実現を目指しましょう。

※くわしくは市民協働課（☎20-1507）へ。



消費生活相談Q&A

マッチングアプリなどでの投資詐欺に注意

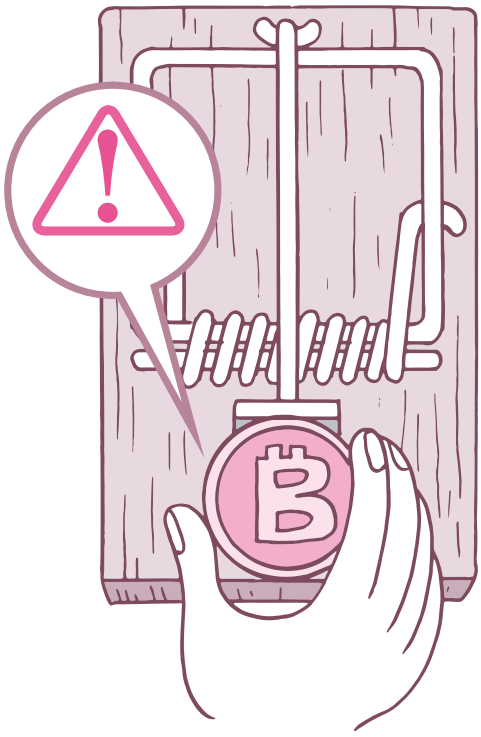
Q マッチングアプリで知り合った女性から「暗号資産（仮想通貨）の売買で資産を増やしませんか」と誘われたので、紹介してもらった取引所で口座を開設し、80万円分の暗号資産を購入しました。その後、10万円の利益が出たのでその分を出金しましたが、当初購入した80万円は出金できなくなっていました。女性とも連絡がつかないのですが、資金は戻ってこないのでしょうか。

A もうかると言って紹介された取引所での暗号資産の取引では、利益が出ているかのように見せかけていたり、開設した口座自体が架空のものであったりするケースがあります。消費者を信じ込ませるための見せかけのデータが用意されている可能性がありますので、十分注意しましょう。

もうけ話には安易に応じない

面識のない相手の誘いには安易に応じず、疑わしい行為を持ちかけてくる相手とはやり取りを行わないようにしましょう。

投資や取引は慎重に

事業者は、日本の居住者を相手方として金融商品取引を行う場合や暗号資産の取引を行う場合は、金融庁への登録が義務付けられています。登録事業者は金融庁ホームページに掲載されていますので、投資を行う前に確認するようにしましょう。

※くわしくは消費生活センター（☎23-1161）へ。